

# 自治体環境施策の手法及び事例 —環境政策の推進による 持続可能な地域づくり—

令和6年5月24日(金)

芝浦工業大学  
環境自治体会議環境政策研究所

中口毅博

[nakaguti@sic.shibaura-it.ac.jp](mailto:nakaguti@sic.shibaura-it.ac.jp)

# 本日の内容

## I. 環境政策の推進による持続可能な地域づくり政策とは

1. SDGsと環境・経済・社会の統合的政策
2. ドイツの統合的政策事例

## II 自治体取組事例の紹介

### 一 環境部署と他部署の複合的施策

# I【総論】環境政策の推進による 持続可能な地域づくり政策とは

# 持続可能な自治体になるには？

## 持続可能な自治体とは

- ①地域資源（自然資源・物的資源・人的資源）の潜在的価値を見だし、再生能力を損なわない範囲で活用する【**残して活かす**】
  - ②モノ、サービス、人材を自前で調達し、循環させ、有機的につなぎ、それが地域の新たな価値を生み出す【**つないで生み出す**】
  - ③地域内外の人との信頼関係や交流、ネットワークを維持する【**学んで助け合う**】
- 環境・経済・社会の統合的政策を推進する
    - － バラバラに実施するのではなく、複合的・統合的に取り組むことが重要（→地域課題の同時解決、一石二鳥・一石三鳥をめざす政策の実施）。
  - SDGsを意識して政策・計画を立案する
    - － 17の目標に関係するものを単に実施していれば良いのではなく、以下の点に配慮して実施する

# 持続可能な開発目標 (SDGs) とは？

- Sustainable Development Goals: サステイナブル・ディベトツ  
プメント・ゴールズ→エスディー・ジーズ
- 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の一環で合意された  
世界が2030年までに達成を目指すべき17の目標
- 2015年9月25日、国連総会で採択された



# ピコ太郎さん、国連本部でPPAP

- 国連本部で「PPAP」新ネタを初披露——。国連の持続可能な開発目標（SDGs〈エスディー・ジーズ〉）に関する会合に合わせ、日本政府が17日夜（日本時間18日朝）に米ニューヨークの国連本部で開いたレセプションに、「PPAP ペンパイナッポーアッポーペン」のヒットで世界的に知られるピコ太郎さんが登場した。
- 日本政府は「PPAP」人気にあやかろうと、世界が取り組むべき17分野の目標を掲げたSDGsの取り組みの考え方を「Public Private Action for Partnership」（官と民の連携に向けた取り組み）と読み替え、「SDGs版PPAP」として打ち出す。外務省の依頼でSDGs版の動画をつくったピコ太郎さんが、レセプションに特別ゲストとして登場。軽快なダンスと歌を人前で初披露した。

（朝日新聞デジタル 2017年07月18日 10時53分）



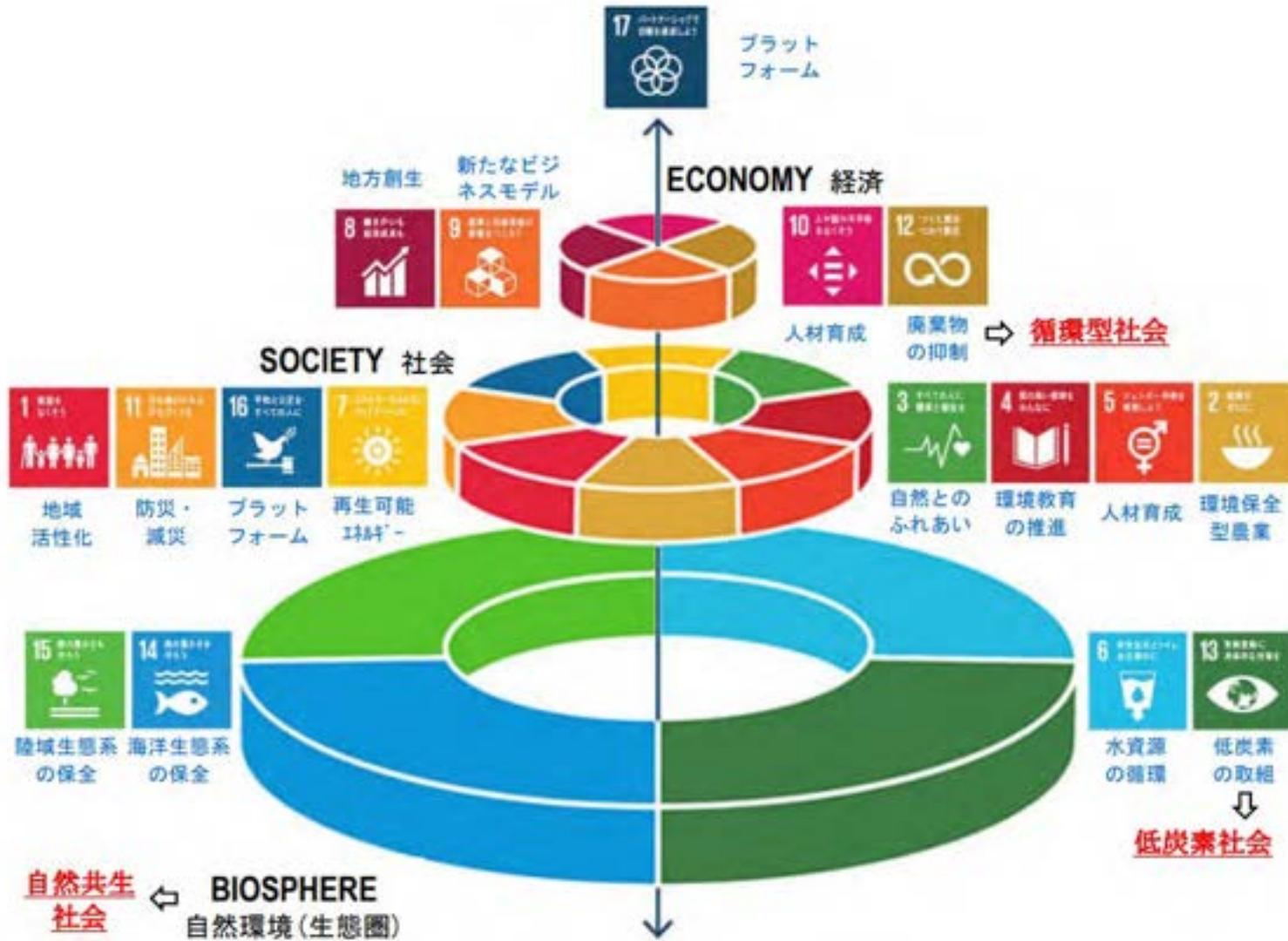
# 世界の社会問題とSDGs

- 世界人口の増加に伴い、資源・エネルギーの消費も増え続け、すべての人が先進国の暮らし方をすると、地球が2.3個必要
- 自然災害は1970年代と比較してこの10年間は発生件数、被災者数が約3倍
- そんな中、国連は2015年、持続可能な開発目標（SDGs:エスディーゼイズ）を定め、貧困、保健、教育、経済成長、気候変動、生物多様性、平和など17の分野の目標が掲げられ、世界の国々が目標達成のために取り組んでいくことを決めた。



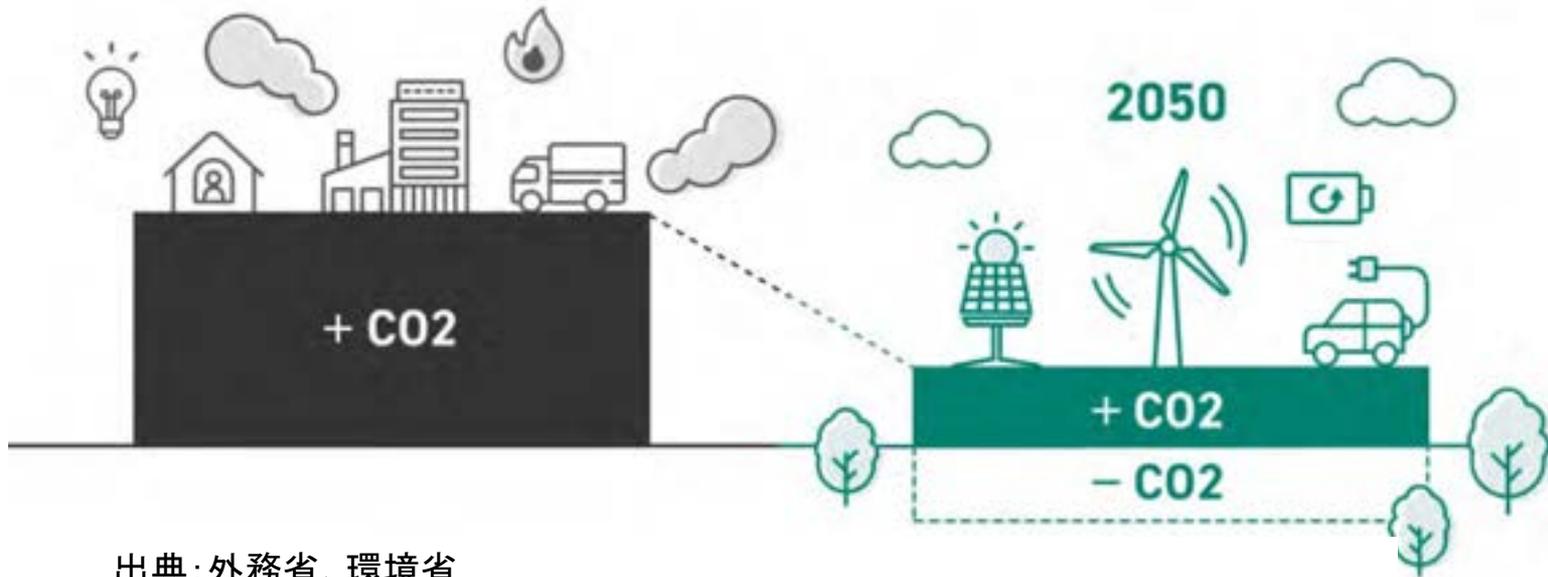
# SDGs ウェディングケーキ

- 「環境」= 自然資本は持続可能な社会の基盤



# 2050年カーボンニュートラルと 新たな2030年目標

当時の菅総理大臣は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラルを宣言  
この実現のため、2030年度において、温室効果ガスの2013年度からの46%削減を目指すことを宣言



出典: 外務省、環境省

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ch/page1w\\_000121.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/ch/page1w_000121.html)

[https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon\\_neutral/about/](https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/)

# カーボンニュートラルとは

- 植物の燃焼・分解によって排出されるCO<sub>2</sub>は、元となる植物が成長過程で吸収したCO<sub>2</sub>と同じである(相殺できる)という考え方
- 成長過程では光合成により大気中のCO<sub>2</sub>を吸収するので、排出と吸収によるCO<sub>2</sub>のプラスマイナスはゼロになる
- したがって、木や植物を燃やしてもCO<sub>2</sub>排出量はゼロと考える
- 「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」CO<sub>2</sub>を全く出さないという意味ではない。出した分をどこかで吸収していればOK
- 「再エネ100%」昼間太陽光で発電して売り、夜は電気を買う場合も含む

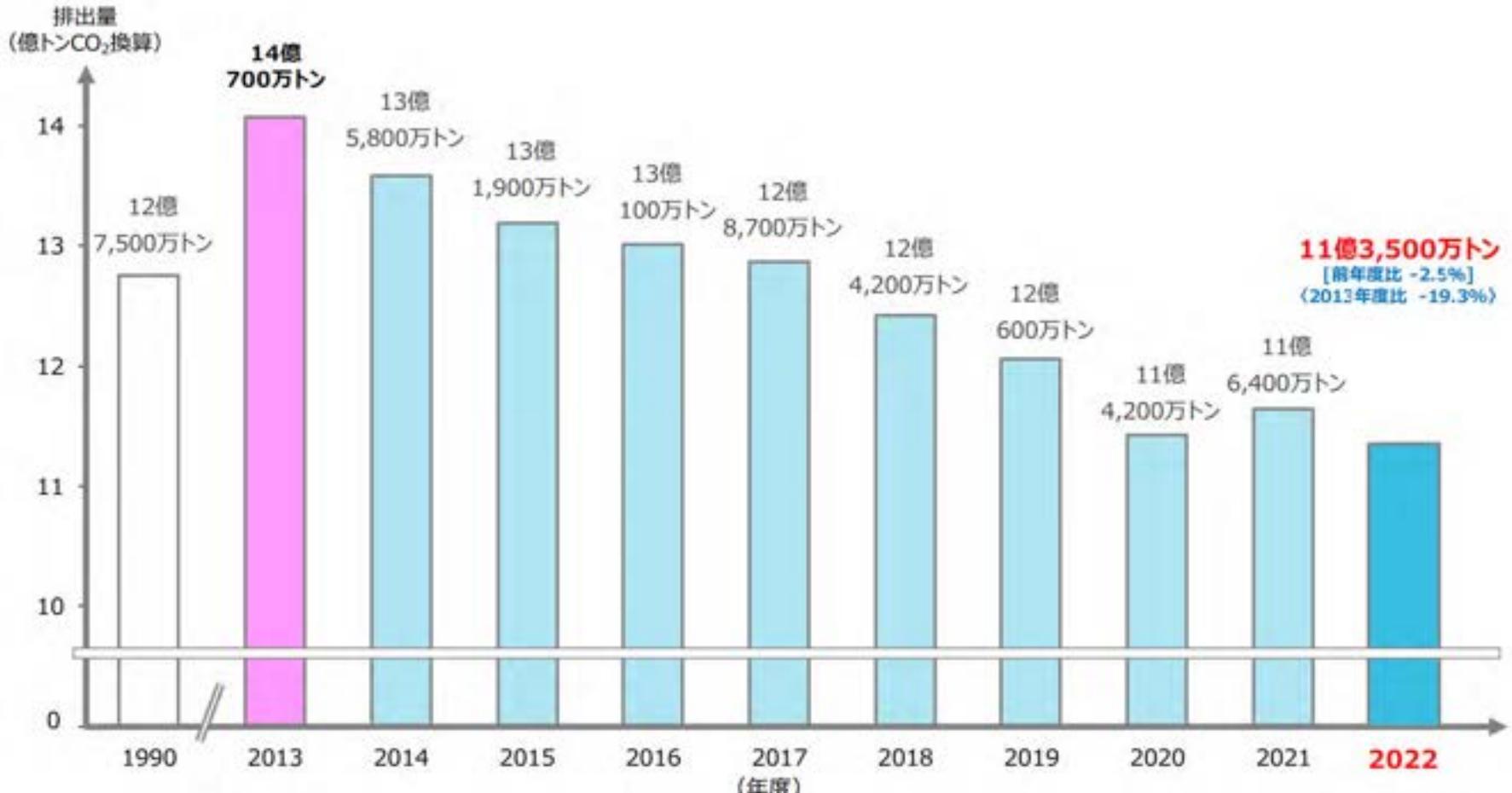


出典: 中部電力

[https://www.chuden.co.jp/energy/renew/biomass/bio\\_shikumi/](https://www.chuden.co.jp/energy/renew/biomass/bio_shikumi/)

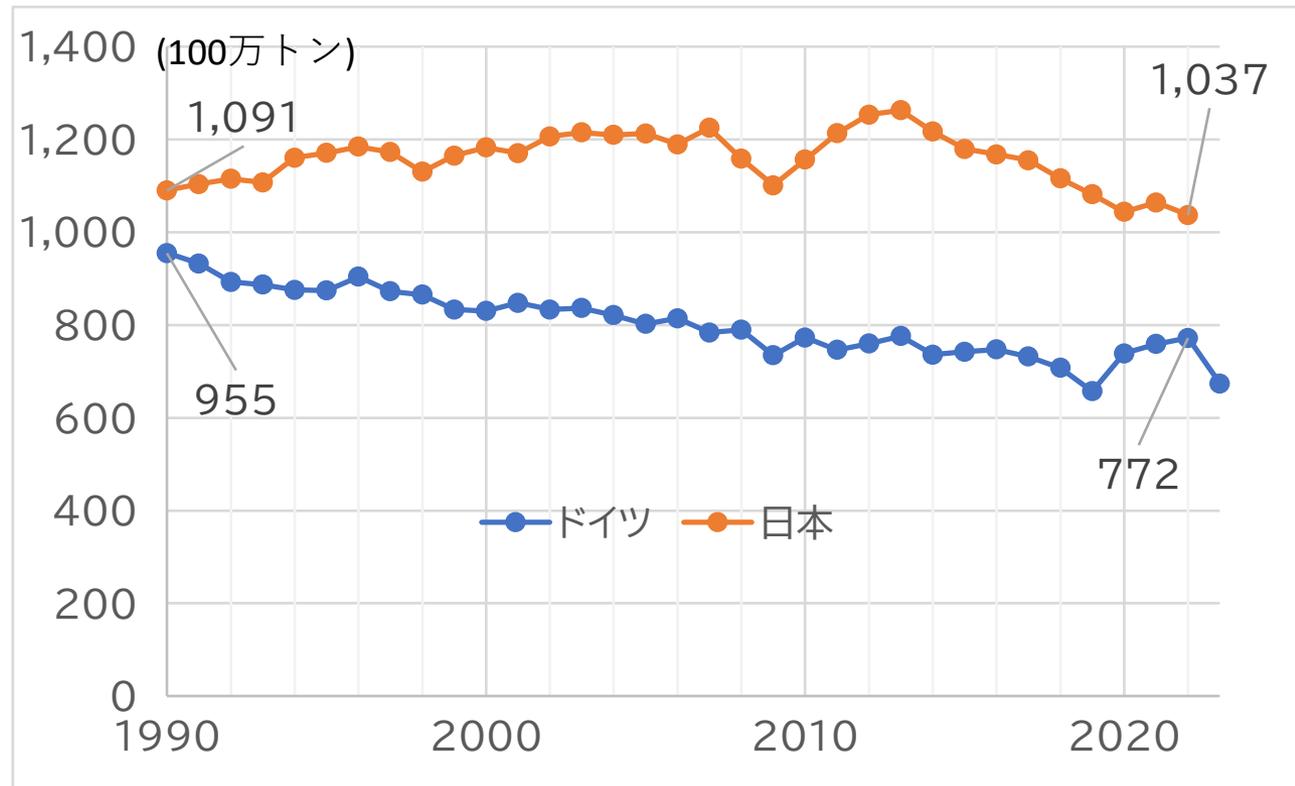
# 日本の温室効果ガス排出量の推移

- 2022年度の総排出量は10億3,500万トン(前年度比-2.5%、2013年度比-21.3%)
- 国際的に約束した2020年度の温室効果ガス削減目標2005年度比で3.8%減はすでに達成(25%減を震災後に改変した目標)



# 日独のCO2排出量の比較

- 温室効果ガスのうち、大半を占めるCO2をみると、2019年現在、日本は10億t、ドイツは6.6億トン(温室効果ガスより減り方は少ない)
- ドイツは2030年に1990年比で65%削減する目標を掲げている
- 日本は1990年から1%しか減少していないのに対し、ドイツは31%も減少している





# 経団連のSociety5.0(新たな経済成長モデルとして提唱)

Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル  
さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの



経団連はSDGsを支援しています。

# 「エネルギーの地産地消」は経済政策でもある！

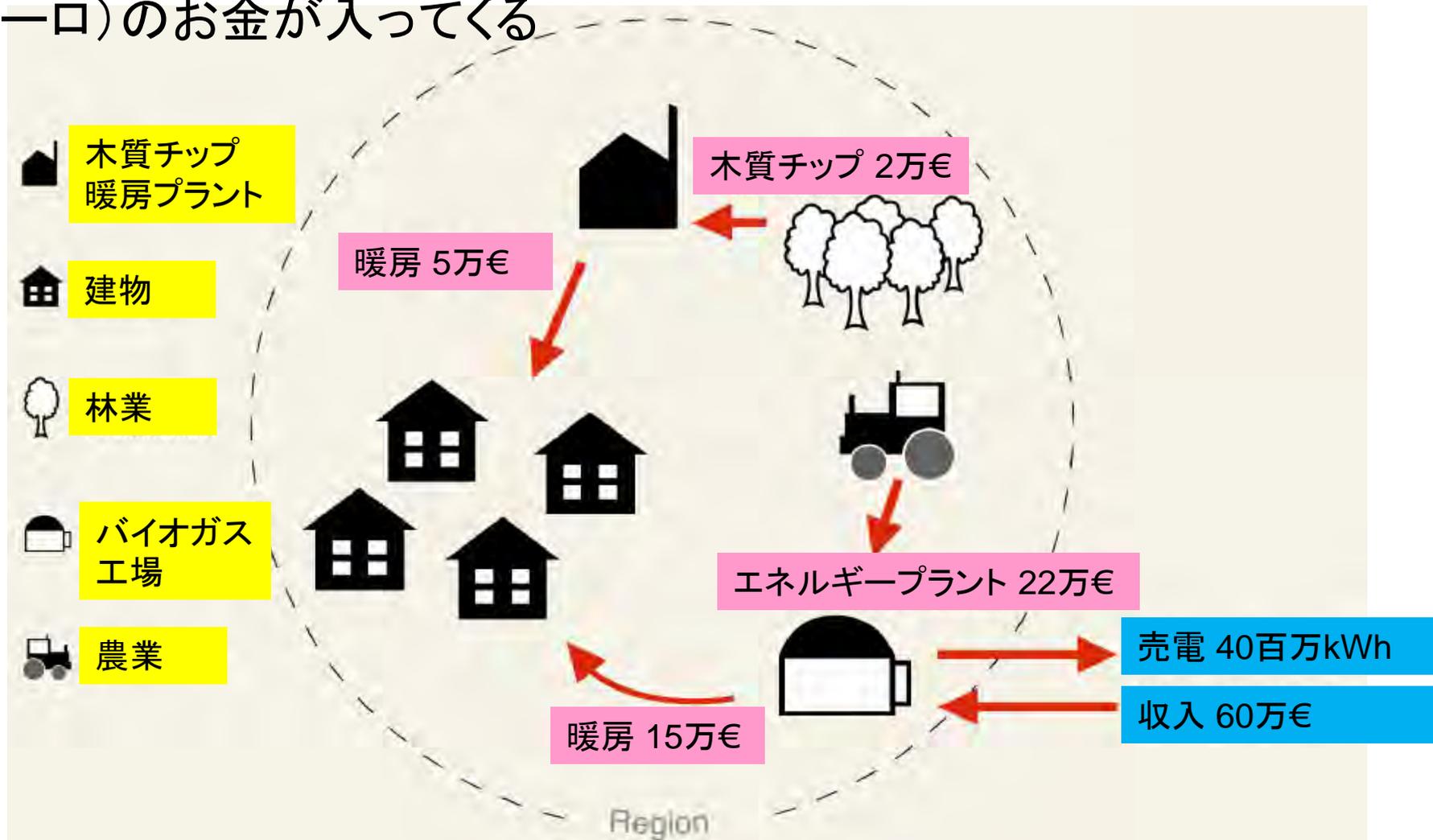
- 日本の世帯あたり光熱費（北海道の場合）は1ヶ月あたり1万9千円（住居除く支出の10%）。年間になると22万8千円。
- 人口5万人の町では、町全体で114億円の光熱費がかかっている計算になる
- このお金が町の外に流出している→これを町の中にとどめることができれば、大きな経済効果が得られる
- 経済政策に位置づけることで、首長さん、財政部局や住民の理解が得やすくなる。



ご使用量のお知らせ		タイヨウセイカツ クロコ 様	
ご使用場所 東京都中央区上野井町 X丁目 X-X	ご契約種別 従量電灯B	ご契約 30A	22年4月分 192日～4月1日
ご使用期間 4月2日～5月1日	ご契約 0290	当月指し振 0090	領収金額 X,XXX円
検算日 5月2日 1200時	ご契約 290	前月指し振 290	うち消費税等別添付
ご使用量 305kWh	当月指し振 X,XXX円	計器検定費 777	ご契約 30A
請求予定金額 (うち消費税等別添付)	前月指し振 XXX円	計器検定費 (税) 777	ご使用量 316kWh
基本料金 819.00円	電圧 2,144.40円	計器検定費 (税) 777	タイヨウセイカツ クロコ 様
電灯料金 3,886.30円	電圧料金 XXX.XX円	計器検定費 (税) 777	上記金額を4月13日に領収書により
電圧料金 52.30円	電圧料金 XXX.XX円	計器検定費 (税) 777	領収させて頂きました。
電圧料金 52.30円	電圧料金 XXX.XX円	計器検定費 (税) 777	お寄せ番号 00000-00000-1-00
電圧料金 52.30円	電圧料金 XXX.XX円	計器検定費 (税) 777	大層電力株式会社 杉屋支社 (7777)
電圧料金 52.30円	電圧料金 XXX.XX円	計器検定費 (税) 777	お電話 07-XXXX-XXXX

# 例：ドイツ・マウエンハイム村のエネルギー自立戦略

- 地域内で2～22万€(ユーロ)のお金が循環し、外から60万€(ユーロ)のお金が入ってくる



- 出典：ソーラーコンプレックス社プレゼン資料をもとに作成

# 環境・経済・社会の統合的政策の例

- エネルギーの地産地消と経済・福祉政策

- 長野県の新築住宅の省エネ性能表示の義務化（施主に工法別の光熱費を提示）



- 北海道下川町の一の橋バイオビレッジ（高齢者集住化住宅）



- 世田谷区保育園が伊那市の小水力発電所の電力を購入



- 環境教育と移住政策

- 鳥取県・鳥取県智頭町の例（森のようちえん（自然保育）の認定制度）



# ドイツの統合的政策事例1:

## ヴォーバン地区のカーフリーとコーポラティブ住宅



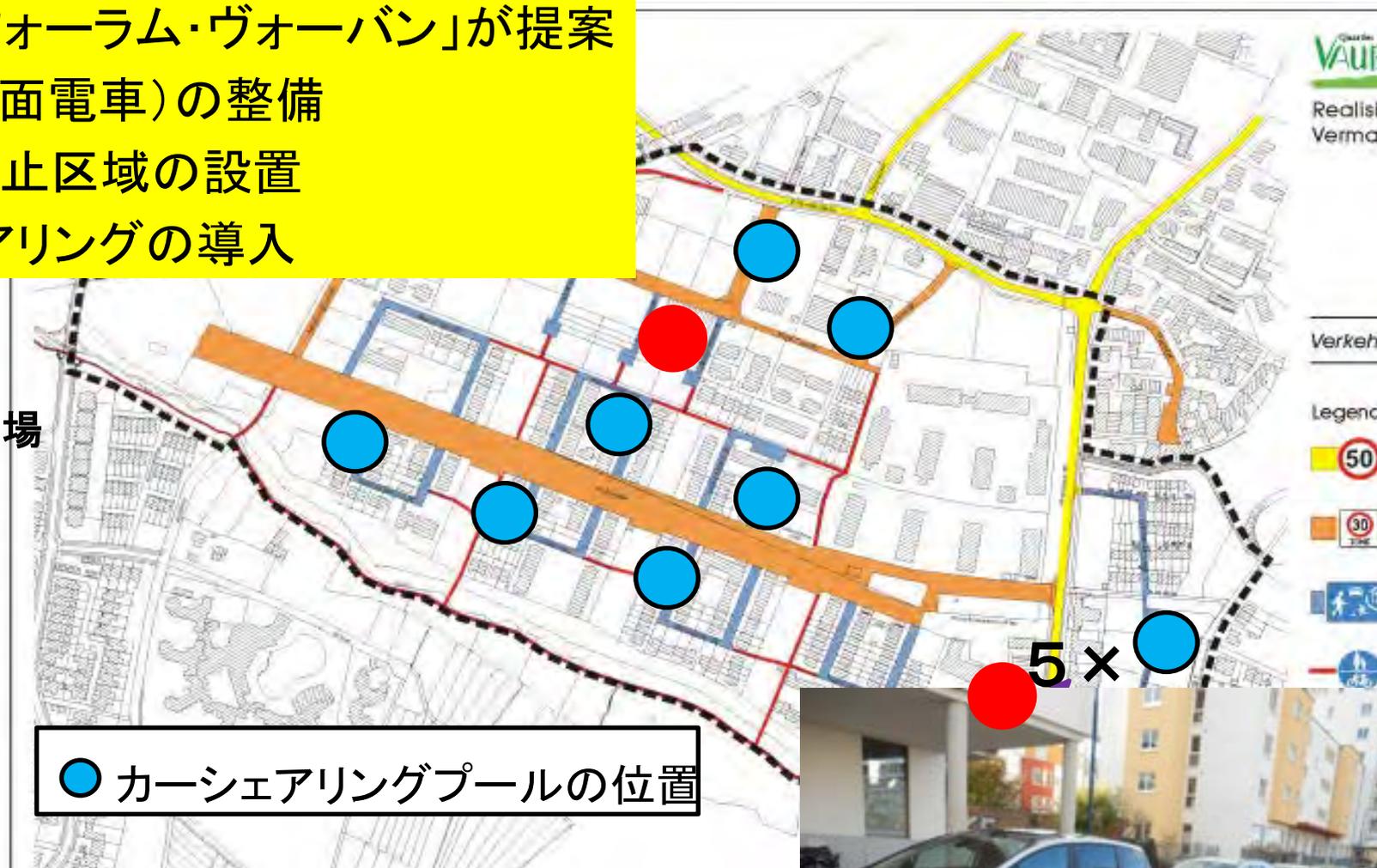
- 市の中心から3km 南下したところにある計画人口5500 人の新興住宅地
- 人口は5631人(2013年)で、18歳以下の人口が多く60歳以上の人口が少ない
- フライブルク市が分譲し開発した
- ハイレベルな市民参加が実現
  - 車のないまちづくり
  - コーポラティブ住宅



# ヴォーバン地区のカーフリーの交通計画

市民団体「フォーラム・ヴォーバン」が提案

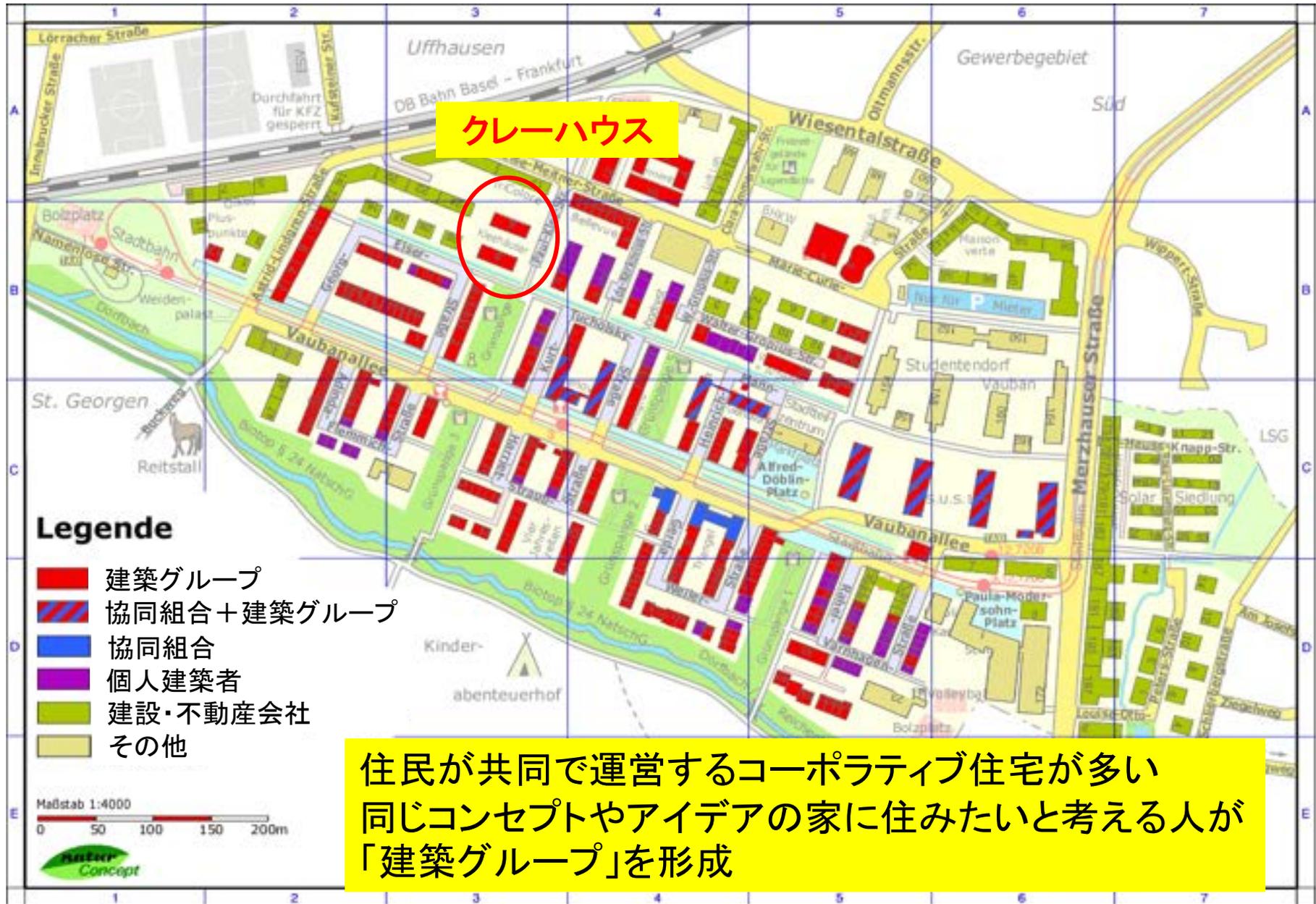
- ترام(路面電車)の整備
- 駐車場禁止区域の設置
- カーシェアリングの導入



2014/01/07



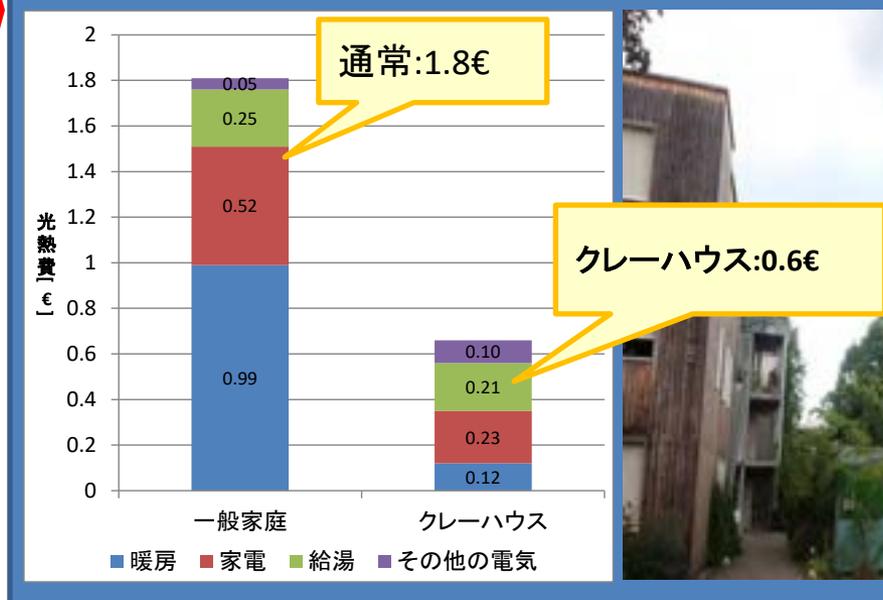
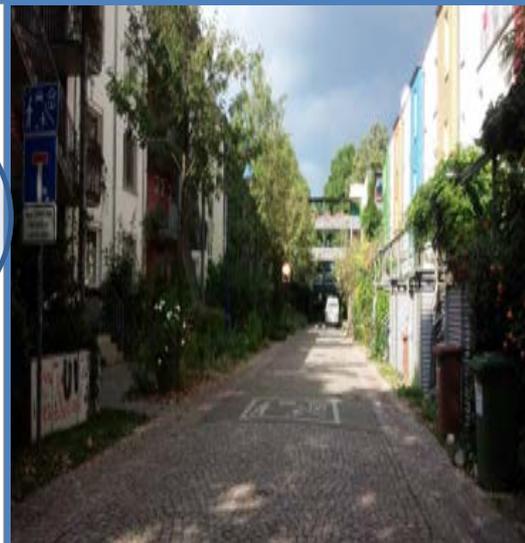
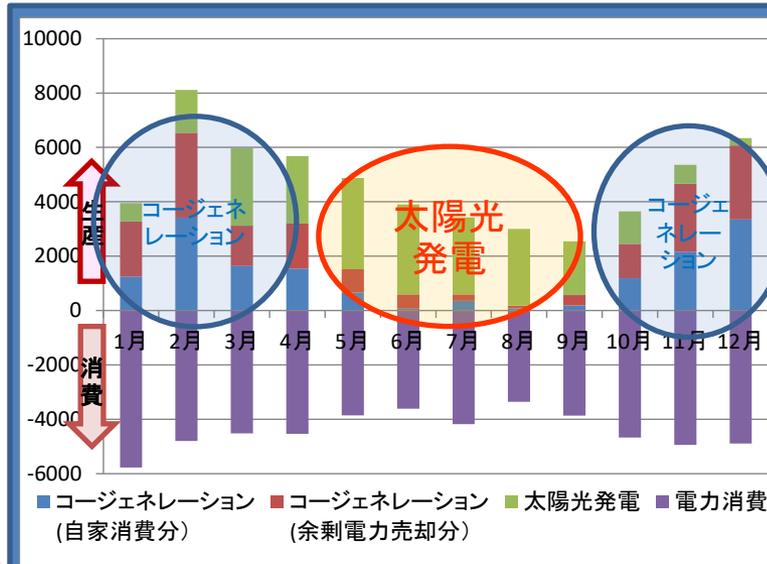
# コーポラティブ住宅と建築グループ



住民が共同で運営するコーポラティブ住宅が多い  
同じコンセプトやアイデアの家に住みたいと考える人が  
「建築グループ」を形成

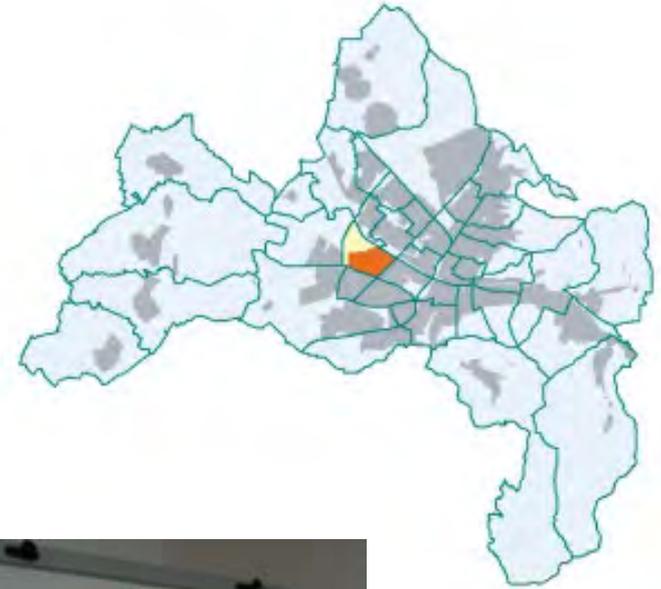
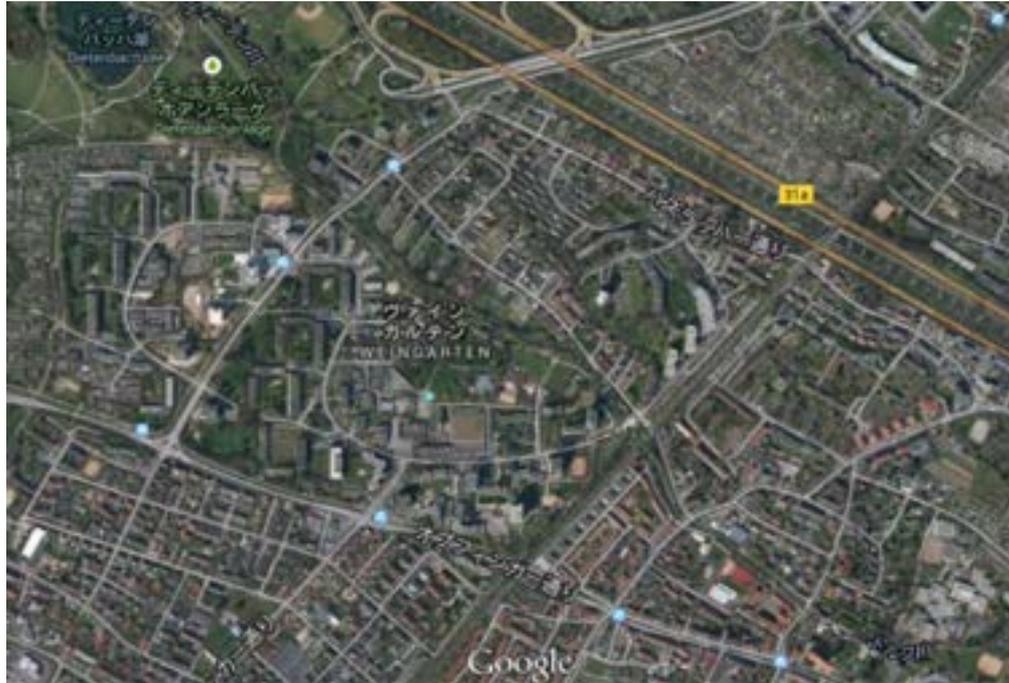
# クレーハウス：環境共生型コーポラティブ住宅

事業項目	クレーハウス (ゾーラーレス・パウエン)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たりのエネルギー消費量を2000W以下に抑えることをコンセプトとした2軒のコーポラティブハウス</li> <li>・24世帯が建設主となって25世帯分の住宅が計画された</li> <li>・一つの住居を二つに分割することや、複数の住居を一つに改造しやすい等柔軟な建築構造を採用</li> </ul>
事業内容 (写真)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴォーバン地区における低エネルギー住宅(クレーハウス)の建設</li> </ul> 
設立の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1999年フラウンホーファー研究所内に創立</li> <li>・研究より実践が重要と考えフラウンホーファー研究所から独立</li> <li>・5人で始めた</li> </ul>
市民出資	<ul style="list-style-type: none"> <li>方法</li> <li>出資者数</li> <li>出資割合</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築グループでは、再生可能エネルギー導入の費用は建築費の一部となっている</li> </ul>
市民とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「建築グループ」という形で住民が一緒になって建物を建てた</li> </ul>
その他のつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物を対象にした学術的な研究への参加・協力</li> </ul>



# ドイツの統合的政策事例2: フライブルク市ヴァインガルテン地区

- エリア面積: 1.63km<sup>2</sup>、人口: 10,444人 (2008年末)  
人口密度: 6460人/km<sup>2</sup>
- 多民族が暮らし、低所得者も多い



# ヴァインガルテン地区の省エネ改修と地域再生

- 隣人関係がない、部外者が器物を損壊など劣悪な居住環境→省エネ改修と合わせて地域再生をしたい
- 従来の方法：建築家・都市設計者主導
  - － 専門家は住民たちがどういうふうに住んでいるかわからない
  - － 住民は、専門家の言っていることがわからない
- 専門家と住民をつなぐコンサルタントが必要→クリステル・ヴェルプさん(市のソーシャルワーカー(FH))



出典：  
<http://forum-weingarten.de/index.php/verein/mitarbeiterinnen>

# ヴェルプさんの仕事（住民の意見聴取）

- 説明会を開催したが、参加率はあまり良くない。
- 説明を受けても、すぐには意見を言えない
- 建物関連の苦情ばかり出た（窓が壊れている、暖房が効かない、電線が切れている）
- そこで、アンケートで聞くと、住民の不満は、建物の改修だけでなかった
  - 隣人、家主とのコミュニケーションの問題（会わない、挨拶がない、不審者による器物損壊）
- →社会福祉面（ソフト）と技術面（ハード）のバランスが大事であることがわかる

# ヴェルプさんの仕事（改修の説明）

- 多くの人々が、改修後家賃が上がって住めなくなるのではと心配→低所得者への配慮が必要とわかる
- 住民の意見を聞き、住宅を設計しなおす。
- 6つの部屋を9つにしてダウンサイジング（独居老人には大きな家は必要ない）
- 設計図に色を塗ったが、それでもわかりづらいので模型を作ってもらい、これをもって住民を回る
- 再入居する人には、これを見て家具やベッドの可否や配置などを判断してもらった



# 改修の内容

- 窓を3重窓に。外断熱。
- 従来のベランダは家の中に取り込む。外に新しいベランダをつける
- 電線、暖房、換気装置はすべて新しく
- 屋上に1階建て増しし、換気のためのダクトを置く→外からの空気の中で暖め熱交換
- 屋上に太陽光パネル
- 低所得者への配慮(お金の節約)
  - － 1階にパーティーができる集会室を設置。
  - － 外来者が宿泊できる部屋を作る



# 住民のつながりの確立

- 住民の関係をつくるため、ネットワークを設立「フォーラム・ヴァインガルテン」(1989年～)
- 74歳のおばあさんの誕生パーティを集会室で開く
  - 多くの隣人が集まり、ベルリンから息子さんも
  - 「最高の誕生日だった」とおばあさん
  - 低所得でレストランを借りられない、ゲストを泊めるお金もない人が、幸せを感じている！
- ヴェルプさん曰く「低所得者であっても、隣人と良好な良い関係を作るために支援するのが私の仕事です」「アイデアは住民が出す。それを実現するのが私の仕事です」



出典：<http://forum-weingarten.de/index.php/verein/mitarbeiterinnen>

# まとめ：環境・経済・社会の統合的政策とは

ドイツ・フライブルク市の低炭素まちづくりは、SDGsに関わる複数課題を同時解決している事例である

→ 日本の自治体もそうあるべき

- ヴォーバン地区の低炭素まちづくりと住民参加



- ヴァインガルテン地区の省エネ改修と地域再生



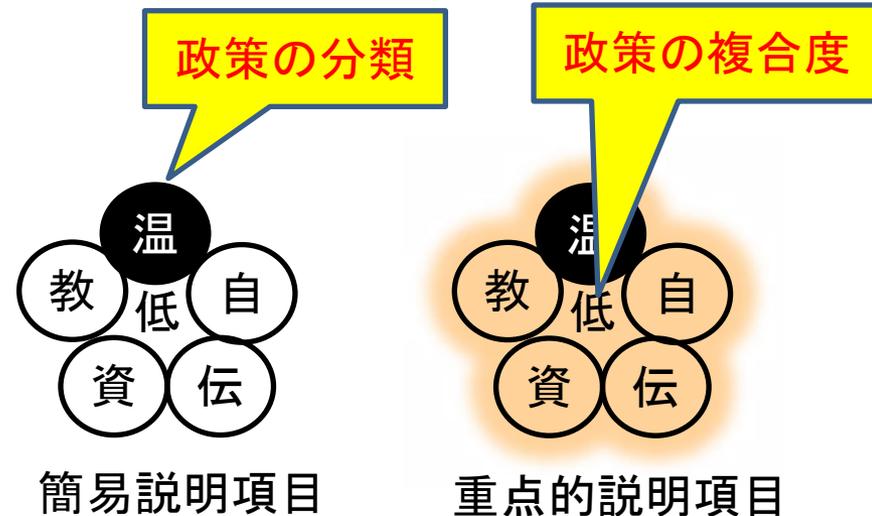
# Ⅱ 自治体取組事例の紹介

## 環境部署と他部署の複合的施策

# 政策の分類と複合度

- 政策の分類

- 温暖化対策・エネルギー
- 自然資源の保全・活用
- 伝統文化の維持・活用
- 資源循環・リサイクル
- 環境教育・ESD
- 共通・その他



- 政策の複合度(難易度ではない)

- 低: 単一の部署で実施可能
- 中: 複数の部署で調整、または民間との協働が必要
- 高: 全庁的取り組みが必要、または空間的広がりをもっている

- 事例紹介を聞きながら、「自分の部署でできること」選定シートに、自分の部署でできそうな取り組みに○をつけてください

# 通知書などに行政の環境の取り組みを一言紹介



- 納税通知書、支払い調書などに環境の取り組みを短くPRすることで、住民の認知度を高める

平成 年度 固定資産税・都市計画税納税通知書 (口座振替)

352-3823

通知書番号 00012345

課税種別	課税標準	課税率	課税額	減額	納税額
固定資産税	36158077	5.530940%	2000000	0	2000000
都市計画税	64751490	5.530940%	3580000	0	3580000
合計			5580000	0	5580000

納税額 703100

支払期 平成 年 月 日

支払額 178100

支払期 平成 年 月 日

支払額 175000

支払期 平成 年 月 日

支払額 175000

支払期 平成 年 月 日

支払額 175000

通知書番号

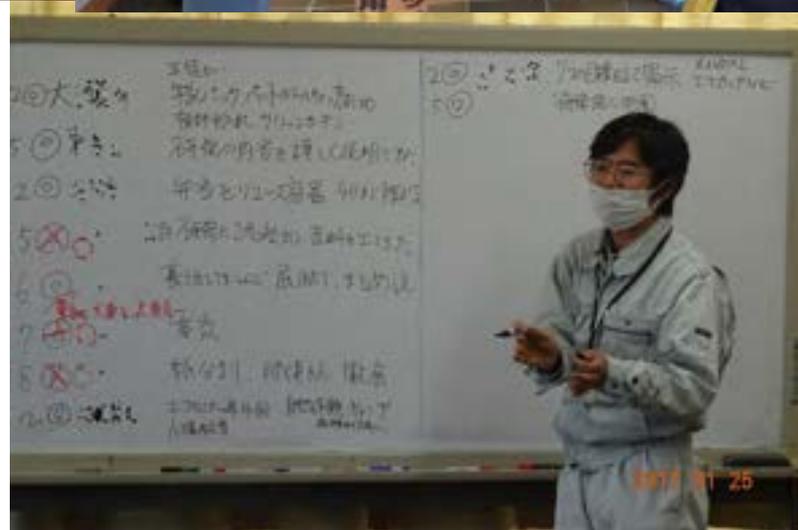
平成 年分 報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書

支払を受ける者	住所(居所)又は所在地				
	氏名又は名称				
区分	細目	支払金額		源泉徴収税額	
		円	円	円	円
(備考)					
支払者	住所(居所)又は所在地				
	氏名又は名称				
	(電話)				
税理者	①				
	②				

本市では資源節約に取り組んでいます

子ども・大人のエコ見回り隊によるエコオフィス点検(内子町)  
 園内でのエコ見回り隊を発展させ、内子保育園園児が内子分庁へ、くるみ保育園が役場本庁舎へ内子小2年生が内子地区の8つの施設の見回りに行った。

子どもが歩いて行けないところを「大人のエコ見回り隊」によって点検



# 農作物収穫体験ツアー(大田原市)



- 農山村交流 田舎生活体験
  - | 農泊 >>
- 教育プログラム
  - | 環境教育 >>
  - | チーム教育 >>
- 産業体験
  - | 環境保全型農業 >>
  - | 農業 >>
  - | 食 >>
  - | 林業 >>
- 自然体験
  - | アウトドア・アクティビティ >>
  - | 自然観察 >>

- 歴史・文化体験
  - | 歴史・文化財 >>
  - | 祭/行事 >>
  - | 伝統文化 >>
  - | 演芸 >>
- 工芸・クラフト体験
  - | 工芸 >>
  - | クラフト >>

栃木県の「大田原グリーン・ツーリズム推進協議会」では、は季節の野菜の収穫をしながらそれを食材にしたランチを食べるツアーを提供

## 越冬トマト&ほうれん草・ちぢみ小松菜収穫&ランチでとちぎ和牛を堪能 i n 大田原



**早春の大田原市を訪ねる収穫体験ツアー**

- ・越冬トマトは、甘みを蓄えてとてもジューシー。ハウスの中で冬を越したトマトのうまみをご賞味あれ。1人3個収穫してお持ち帰り！その他、1個試食つき。
- ・甘みが特徴の冬のほうれん草と香りのよいちぢみ小松菜。農家さんのこだわりの野菜をそれぞれ2束ずつ収穫してお持ち帰りいただきます。サツマイモジャムや柚子ジュースなどの直売会あり。
- ・地産地消に取り組むレストラン「まつ坂」でとちぎ和牛のカルビ焼きセットをお召し上がりいただきます。

※昼食は和室でのご提供となります。

プラン	日帰りバス企画 発着地：JR上野駅	旅行代金	大人お一人様9,800円 ※小人はおとなと同額
行先	栃木県大田原市	出発日	平成29年2月11日(土)
		旅行日数	日帰り

出典：<https://www.znk.or.jp/nekonote/event/>

# 家屋調査の際にごみの出し方ルール説明(内子町)



家屋調査を行う際、すべての家主に対して正しいゴミの分別や出し方のルールを守るようお願いし、ゴミの削減と環境意識の向上に繋げるようにしている

## 平成26年4月～ 内子町のごみの出し方

※燃えるごみ、燃えないごみ、カン、びん、金属類、布・古着、ペットボトル、白色トレイは、それぞれ指定された袋に、別々に入れて下さい。

分別の種類	出せるもの	指定ごみ袋・料金
燃えるごみ	<p>おむつ(汚物は取り除く) CD ビニール類 写真 プラスチック類(ペットボトル及び白色トレイを除く) 炭 木製品 リサイクルできない布・古着 花火(必ず水に濡らす) 粘土 使い捨てカイロ ポール タケノコの皮 アルミホイル 革製品(金具はできるだけ取り除く) 貝殻 アルバム T字ひげ剃り(危なくないようにする) 剪定した草木(少量のみ) 古紙以外の紙類(レシート・チリ紙など)</p> 	<p>指定袋(乳白色) 「燃やせるごみ袋」 大20枚入り800円 中20枚入り600円 小20枚入り400円 ※片手で持ち運びできる重さまでにする</p>
燃えないごみ	<p>陶磁器 陶磁器製食器 花瓶 飲料・食料用でない空きびん 化粧品のびん ガラス ガラスコップ 鏡 傘 電球 蛍光灯 時計 灯油缶(中身を残さない) 針(危なくないようにする) 水槽 コード 磁石 水筒 ライター(使い切る) 水中眼鏡 アイロン アイロン台 乾電池(ナイロン袋などでまとめてください) 電気式かみそり(電池は外す) スキー・スケート靴 ローラースケート ビデオデッキ 電話機 炊飯器 電子レンジなど</p> 	
カン	<p>【飲料用の空き缶/食料用の空き缶/調味料が入っていた缶】 【具体例】 ジュースのアルミ缶・スチール缶 ビール・発泡酒・酎ハイなどの缶 乾パンなどの非常食が入っていた缶 油の付いた缶・ペットフードの缶詰(中身をよく洗ったもの) 粉ミルクの缶 お菓子の缶 調味料の缶など (アルミ缶とスチール缶を分ける必要はありません) ※中を軽く洗ってから出して下さい ※カンのふたは金属類で出して下さい</p> 	<p>指定袋(透明) 「缶・びん・燃えないごみ・金属類専用袋」 大10枚入り400円 ※片手で持ち運びできる重さまでにする</p>
びん	<p>【飲料用の空きびん/食料用の空きびん/調味料が入っていたびん】 【具体例】 ジュース・酒・ビールなど飲料用びん のり・鮭フレーク等のびん 醤油びん 調味料のびん ジャムのびん 栄養補助ドリンクのびんなど ※中を軽く洗ってから出して下さい ※びんのふたは金属類で出して下さい</p> 	

# グリーン入札制度（滋賀県）



- 環境負荷の低減に積極的に取り組む事業者を優先して競争入札や随意契約が実施される
- 「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度（GP プラン滋賀）」は県内の中小事業者に研修を受けてもらい登録することで、小規模事業者であってもグリーン入札参加資格を得られるもの

	環境配慮型事業者	GP プラン滋賀登録事業者
要件	(1) 滋賀県物品・役務および庁舎管理業務に係る競争入札参加資格者名簿に登録されていること。 (2) 滋賀県内に本店、支店、営業所等を有する事業者であること。（県外に本店を有する事業者は、滋賀県内の支店、営業所等に滋賀県との取引を委任していること。）	
	(3) 次のいずれかに該当すること。 ① ISO14001 の認証を取得している者 ② ISO14001 の自己適合宣言をしている者 ③ エコアクション21 認証・登録制度の認証登録を受けている者 ④ KES・環境マネジメントシステム・スタンダードの認証を取得している者	(3) グリーン購入実践プラン滋賀登録制度*の登録を受けている者  *グリーン購入実践プラン滋賀登録制度とはグリーン購入に取り組む県内事業者の方々の裾野を広げることを目的とした登録制度
登録申請先	滋賀県会計管理局管理課	一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク

# 内子小・こばと保育園木工体験(愛媛県内子町)



- 内子小2年生は森田材木店への見学と「内子手仕事の会」の支援で木のおもちゃ作りを行っている
- こばと保育園では内子手仕事の会の支援で木工教室を行っているほか、共通スペースに木や用具を置き、日常的に工作ができるようにしている



# 子育て支援リユース事業(山口県宇部市)



- 家庭で不用になった子供服・絵本などの子育てグッズを、市内9か所に設置する「子供服・絵本回収ボックス」で回収。
- 集まったグッズは、市内で開催されるイベント等において、「子育てグッズリユース広場」、「子ども用スポーツグッズリユース広場」を開設し、必要な方に無料で譲る





# 転入者に対する環境の取り組み紹介(内子町)



## 転入・転居 のみなさんへ

このたびは、内子町へご転入・転居いただき、ありがとうございます。  
 内子町は、愛媛県のほぼ中央に位置し、町の中心部を一般河川・佐川の支流である小田川が流れ、豊かな水と四季折々の風情を漂わせる美しいまちです。  
 そして「キラリと光るエコロジータウン内子」をキャッチフレーズに、歴史的な町並み、伝統と文化に支えられた村並み、豊かな自然に育まれた山並みを大切に守り育て、住んでよく、訪ねてよい、風格のある町を目指しています。

さて、当町では行政（役場）に関するお知らせや、みなさんの要望・意見などをとりまとめて町政に反映させるため、自治会制度を導入しております。そして、町の施策や催し物などの案内等を掲載した「広報うちこ」の配布等みなさんに関する様々なお知らせは、自治会長さんを通して、みなさんのもとに届く仕組みになっています。  
 ぜひ連絡をご理解のうえ、落ち着かれましたら、自治会長さんを訪問され、区入りしていただきますようお願いいたします。  
 なお、都合により区入りをされない方につきましては、「広報うちこ」等役場受付に用意いたしておりますので、併りにお申し出ください。

あなたの住所の自治会は

自治会は  自治区は  です。



自治会長は \_\_\_\_\_ さん (区) \_\_\_\_\_ )

区の代表者は \_\_\_\_\_ さん (区) \_\_\_\_\_ ) です。

なお、巻のため隣近所の方に区名をご確認ください。

また、民生委員 は \_\_\_\_\_ さん です。

平成30年7月17日 内 子 町



## キラリと光るエコロジータウン内子

～ 町並み、村並み、山並みが美しい、持続的に発展するまち ～

内子町環境基本計画では  
 3つの視点から環境まちづくりを進めます。

### 1) 自然プロジェクト >>> はぐくもう 自然とともに生きるまち

内子の森や川を再生し、地域のバイオマス利活用を進め、地域の自然環境を保全するとともに、資源の循環がでる社会を形成します。

- 内子らしい自然環境の保全・創造 ～里地山再生～
- 地域バイオマスの利活用推進
- 小田川エコ物語



### 2) 暮らしプロジェクト >>> ずっと住み続けたいまちを創造しよう

ゼロ・ウェイスト（ごみ・無駄・浪費をなくす）をめざした取り組みを進め、地球温暖化対策を進めるとともに、地域循環型社会を形成します。

- 5つのRの推進（リデュース・リユース・リサイクル・リペア・リバイブ）
- 地球温暖化防止推進事業の展開



### 3) 環境教育プロジェクト >>> エコロジータウンを次世代へ引き継ごう

地域・学校とともに環境教育を充実させ、未来につなぐ持続可能なエコロジータウンを形成します。

- 自治会との連携強化
- 担い手の育成
- 環境うちこ会議の開催



詳しくは、内子町ホームページの「内子町環境基本計画」をご覧ください。



# 谷津干潟のアオサ除去活動(習志野市)

- 谷津干潟はラムサール条約に登録された首都圏に残る貴重な湿地であるが、富栄養化のためアオサが異常繁殖し、悪臭を放っている
- 市や市の自然観察センターが中心となり近隣の高校や大学生にも呼びかけて、一斉除去活動を行う



# ペレットストーブ・ペレットボイラー導入への補助 (例: 葛巻町等)



- ・現在, 廃材や除間伐材を細かく砕いて粒子状にした木質ペレットを燃料として用いたストーブやボイラーが導入されつつある
- ・ペレットストーブに対する自治体の補助も中山間地域の自治体を中心に継続しており、少なくとも209の自治体で木質バイオマスに関する助成制度を持っている。例えば岩手県や同県葛巻町では家庭用ペレットストーブ導入にそれぞれ5万円の補助を出していた。



木質ペレットとペレットストーブ



# 生ごみ・竹・豚糞尿の堆肥化(日置市)

- 生ごみ、豚糞尿、竹チップ+廃食油で低温好気性発酵し、堆肥化
- 生ごみは10円/kgで買い取り、地域活性化奨励金(CO<sub>2</sub>マイレージ)として自治会へ。伐採竹は5円/kgで買い取り
- ごみ減量、竹林荒廃防止、豚舎の消臭の一石三鳥



# 100㎡運動における寄付者の植林参加(斜里町)



- 1977年開発の危機にあった知床国立公園内の開拓跡地を買い取るために、100㎡を1口とする寄付運動を実施。20年後、対象地をほぼ買い取った。
- 寄付者の名前は運動ハウスに刻まれ、ニュースレターが送付され、植林や体験ツアーに参加できる

## お知らせ

[一覧はこちら](#)

## 最新の活動レポート

[一覧はこちら](#)

2016.02.09 **参加者募集**  
第37回知床自然教室参加者募集 (7/30  
~8/5)

2016.02.08 **参加者募集**  
「第17回知床森づくりの日・春」  
(5/20~24) 参加者募集

2016.02.08 **参加者募集**  
ボランティア募集 (2016年5~6月)  
「森づくり」

2015.11.30 **参加者募集**  
ボランティア募集 (2016年1~2月)  
「森づくり」

2015.09.14 **参加者募集**  
「第19回森づくりワークキャンプ」  
(10/30~11/4) 参加者募集 \*開催  
済



2016.02.11  
積雪期の見回り (2月)   
実施日: 2016年2月11日 (木)  
今日は、森づくり作業地の見  
回りを行いました。この冬  
は、荒れた日は今のところ少  
なく、その...続きはこちら



2016.02.08  
標識プレートの確認作業と資  
材庫の雪かきを行いました。  
  
落雪に備えて、フードを被っ  
て作業します。実施日: 2016  
年2月6日 (土) ~7日 (日)  
天気: 快晴 気温: -7℃  
(日中) 2...続きはこちら

## 運動参加者数

66,624 人

(2016年1月31日 現在)



知床の  
森づくりを  
応援して  
ください!

へーべえ君



# もったいない陶器市(奈良県生駒市)



- 回収ボックスに集まった陶器の中でまだ使えそうなきれいな物を並べて、気に入ったものをもらって使ってもらおうリユース運動
- 近くのスーパー「ディアーズコープいこま」の店頭をお借りして「毎月10日は陶器の日」として回収と「もったいない陶器市」を行い、毎回300人近い人が利用



# 高齢者福祉施設におけるミニコンサート & ごみ分別説明・町の取り組みPR(内子町)

ミニコンサートの合間にごみ分別方法の説明や、曲と関連した町の取り組み紹介を入れる



# 市民出資による公共施設への太陽光発電導入(飯田市)



- 住宅用太陽光パネルの補助制度は、少なくとも800以上の市区町村で補助制度がある(ソーラーシステム振興協会、2016)
- 共同設置・出資は、太陽光・風力発電装置などを市民が共同で負担し、屋根の提供者と共同で運営するもので、市民団体や生協などが主体的に実施している場合が多い。
- 長野県飯田市では飯田市内の38カ所の保育園、幼稚園、公民館などの屋根に太陽光発電システムを設置し、各施設に供給(南信州おひさまファンド)



飯田市みつば保育園(出典:飯田市ホームページ)



飯田市明星保育園

(出典:おひさま進歩エネルギーホームページ)

# 熱中症予防情報メール(熊谷市ほか)



- 熱中症ランクに達したら登録者にメールでお知らせ(熊谷市健康づくり課)



「あっぱれ!熊谷流」  
熱中症予防情報

- ①熱中症指標一覧表
- ②最大ランク表示
- ③熱中症指標の説明

[メール通知サービス  
ご利用について](#)

熊谷市  
日本気象協会 提供

登録は  
ここから



あついよ

熊谷市熱中症指標ランク		
WBGT	熱中症ランク	
31℃以上	危険	5
28℃以上	嚴重警戒	4
25℃以上	警戒	3
21℃以上	注意	2
21℃未満	ほぼ安全	1

# ホテル観察会（内子町、うちみづネット、五十崎自治センター、石畳を思う会、柿守会、児童館など）

内子町石畳地区と柿原地区でホテル観察会を開催。蛍の生態について理解を深めるとともに山間部の小学生と町中の小学生の交流に一役買う



# 小水力発電の導入(岡山県西粟倉村)



## ● 水力発電所のリプレイス

- 流域面積1850<sup>ヘクタール</sup>
- 使用水量0.55m<sup>3</sup>/sec
- 吉野川 0.406m<sup>3</sup>/sec
- 大海里川0.144m<sup>3</sup>/sec
- 有効落差 68.9m
- 発電出力最大 290 K W
- 年間発電量2,540,000 k w h



## ● 農業用水の活用



出典: 西粟倉村におけるグリーンプランパートナーシップ事業

[https://www.env.go.jp/policy/local\\_keikaku/kuiki/pdf/22\\_nishiawakura.pdf](https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/kuiki/pdf/22_nishiawakura.pdf)

# ドライミストによる気候緩和(熊谷市ほか)



- 熱中症対策として、水を微細な霧の状態にして噴射し、蒸発する際の気化熱の吸収を利用して冷却する装置。大阪府水道局では**ドライ型ミスト装置導入を職員がサポートする制度を設置**



## 全国気温観測値ランキング(2017年7月17日)

順位	都道府県	地点	観測値		昨日までの観測史上1位の値	
			°C	時分	°C	年月日
1	群馬県	館林	37.1	15:31	40.3	2007/08/16
2	埼玉県	鳩山	36.8	14:17	39.9	1997/07/05
3	宮崎県	神門	36.2	13:31	38.0	2013/08/10
//	大分県	日田*	36.2	14:09	39.4	2013/08/20
5	鹿児島県	志布志	36.1	13:59	36.5	2016/08/16
//	山梨県	甲府*	36.1	14:38	40.7	2013/08/10
//	埼玉県	熊谷*	36.1	15:32	40.9	2007/08/16
8	愛媛県	御荘	36.0	15:37	37.9	2013/08/01
9	宮崎県	油津*	35.9	16:02	38.1	2013/08/02
10	高知県	佐賀	35.8	13:34	38.6	2013/07/25

# 内子高校うちこスイーツコンテスト(愛媛県内子町)



- 内子高校生が内子産食材を用いた「スイーツコンテスト」を開催。賞金や食材費はクラウドファンディングを利用してネット上で資金集めを行う。当選した「じゃからサイダーゼリー」を笹祭りで調理・販売したほか、「うちみづ子ども倶楽部」で小学生と調理し食べる。

地元内子の町でうちこスイーツコンテストで選ばれたスイーツを作りたい!

愛媛県の高校生3人が地元の町内子を活性化させるために「うちこスイーツコンテスト」を開催しています。現在一次募资まで終わっていますが、この後募集再開...

町を活性化させたい!

スイーツコンテストを開催しています!

フード & nagagutsu

現在	パトロン	残り
231,000円	34人	終了



# 成人式のごみ拾いや資源回収(伊丹市)



- 兵庫県伊丹市では、成人式の実行委員が社会貢献活動を企画。ペットボトルのキャップ集めや、成人式当日朝に会場周辺のごみ拾いを実施



# 時代巡りウォークラリーによる世代交流型活動(内子町)



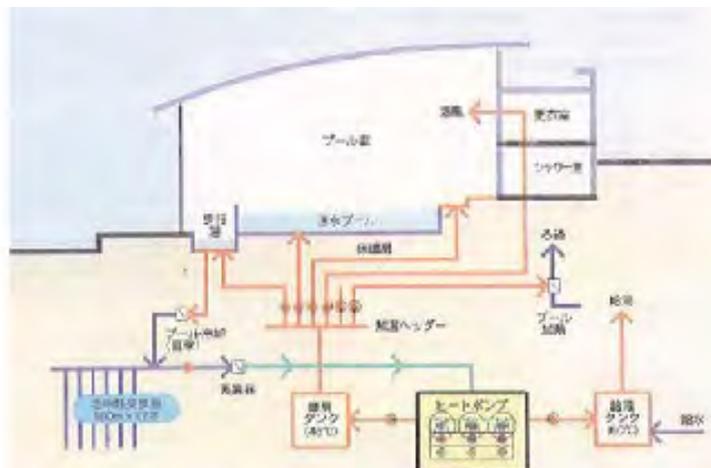
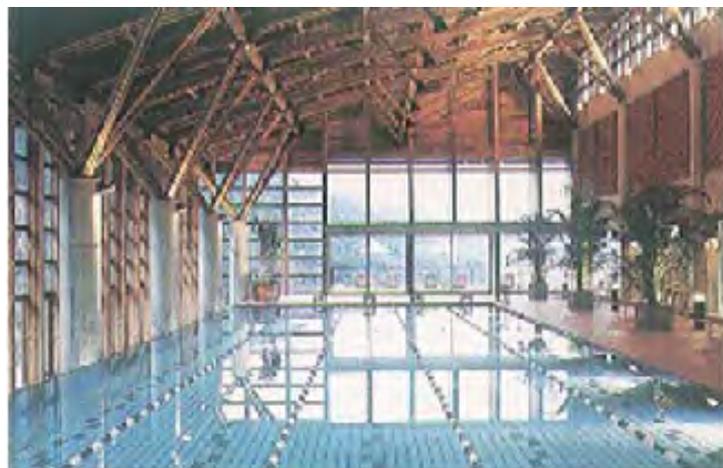
うちみづネットと内子自治センターが主催する「うちこ時代巡りウォークラリー」に2年生の総合学習英語クラスや家庭クラブ員が参加。小学生や幼稚園児と一緒に町並を歩く



# 風力発電施設の自治体自らの設置(檜原町)



- 地熱利用の「雲の上のプール」を整備(1998)
- 最大出力600kwの風力発電所を整備  
(1999,総事業費約4.5億円)
- 売電収入約4200万円→町の環境基金へ積立て、住民へ還元
- 住宅用太陽光発電補助1kwあたり20万円(全国でも高レベル)
- その他、小水力・小型風力・温度差エネルギー利用にも補助。
- 基金を利用し、環境調査も実施(1200万円)。



# PFI方式による合併浄化槽設置促進(富田林市)



- 南部の東条地区等を市設置型浄化槽整備推進事業により整備する区域と定め、家庭に浄化槽を設置し管理する事業をPFI方式で実施
- 市が藤野興業の子会社の(株)FJSに委託し、同社職員が各家庭や町内会へ地道に出向き、案内・相談、工事調整、各種申請手続き、浄化槽設置工事及び保守管理を実施した結果、合併浄化槽設置率が飛躍的に拡大。



# ゼロウエストカードによる雑紙持ち込み ポイントキャンペーン(徳島県上勝町)



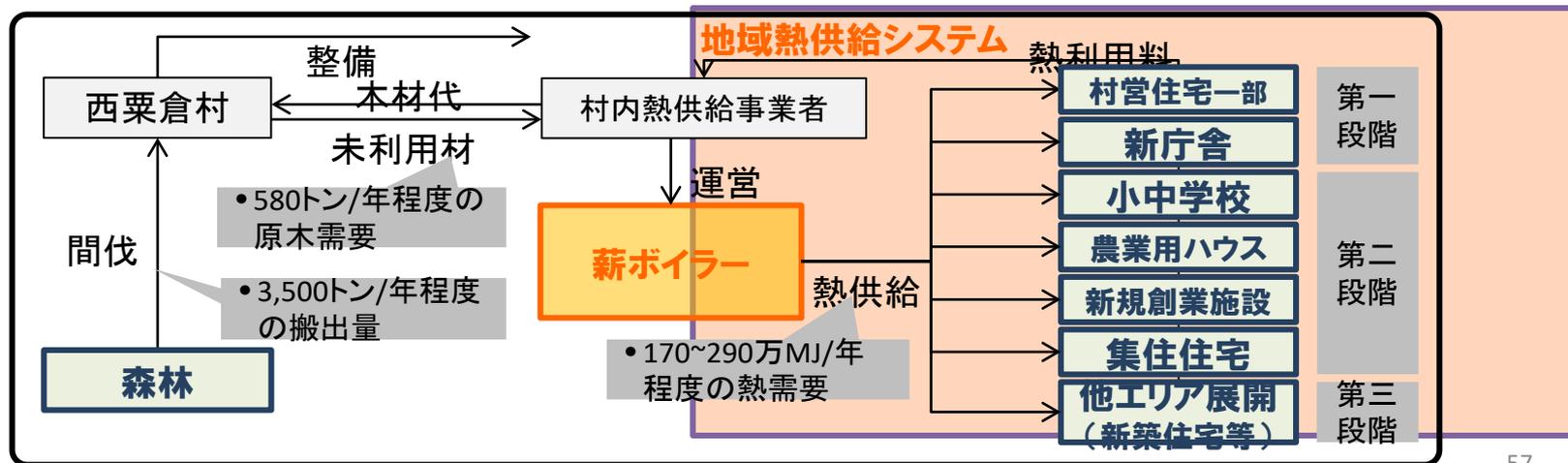
ゼロウエスト宣言している徳島県上勝町ではごみの収集がなくごみステーションに町民が持ち込むが、雑紙の資源回収を徹底するために、持ち込んだ雑紙を分別して入れると、ポイントがたまるようにしている



# 温泉施設における薪ボイラーの設置（西栗倉村）



地域産未利用材を燃料とする薪ボイラーを温泉施設で加熱用に導入。ローカルベンチャー「村楽エナジー」が地域熱供給から宿泊施設までを手がける。



# ペレットストーブ・薪ストーブ導入(東京都檜原村)

- 村内未利用材などを利用して暖房・給湯・温泉加温を行う

施設	導入設備	導入年	導入機種
檜原村役場「カフェせせらぎ」	ペレットストーブ	2005	テルモロッシ社「エコサーモ」
教育の森研修棟	薪・ペレット兼用 ストーブ	2009	さいかい産業「だるま君」
温泉センター数馬の湯	薪ボイラー	2012	80kW×2基(温泉加温用)
温泉センター数馬の湯(レストラン)	薪ストーブ	2013	DUTCH WEST(ダッチウエスト)「FA285」
地域交流センター(観光協会)	薪ストーブ	2016	ブルナー社「IRONDOG No4」
檜原村役場 西庁舎	薪ストーブ	2016	HWAN(ワム)「4620c」
神戸国際マス釣場	薪ストーブ	2016	ホンマ製作所「HTC-50TX」
やすらぎの里(福祉複合施設)	チップボイラー	2018	240kW×1基(給湯・空調用)
都民の森 森林館	薪ストーブ	2019	ブルナー社「IRONDOG No4」
檜原村じゃがいも焼酎製造等施設 「ひのはらファクトリー」	ペレットストーブ	2020	さいかい産業「DK-15」
森のおもちゃ美術館	薪ストーブ	2021	arada(アラダ)「Aarrow Ecoburn Plus 9」
笹平サテライトオフィス	薪ストーブ	2022	メーカーなし



やすらぎの里チップボイラー

出典: 檜原村ホームページより編集

<https://www.vill.hinohara.tokyo.jp/0000000860.html>

# 自動運転バス(北海道上士幌町)



- ・2017年度から実証実験を進め、ソフトバンク子会社の「ボードリー」などの協力の下、22年12月からはフランス製の電気自動車で、役場や町市街地、道の駅を巡回する約3・5キロのルートで定期運行を始めた。
- ・現在週3日、2系統6便を定期運行。202312月までに約1600人が利用。
- ・現段階は「レベル2」で、基本的な運転は車が自動で行うが、信号や交差点への進入などは、同乗しているオペレーターが判断して操作している。



お持ちのスマートフォンで  
最新の情報や乗車時刻を確認してください

**自動運転バス  
乗車必須アプリ**

QRコードをかきとって  
お持ちのスマートフォンで  
お持ちのスマートフォンで

# 環境配慮型住宅の建築補助（長野県）



- 長野県は新築住宅の省エネ性能表示の義務化（施主に工法別の光熱費を提示）
- 一定基準を満たす性能の高い住宅に補助。施工業者に展示会を義務づけホームページで公表
- 施主は初期費用が高くても、性能の良い住宅を選択→地元工務店の技術開発が進み、経済効果が生まれる



# 森林管理から販売までの一体化（東京都檜原村）



- 村はウッドスタート宣言（木育の行動プラン）を2014年に行い、2021年におもちゃ美術館を開館
- 民間では2018年に木材産業協同組合を結成し、生産・製材・加工・販売業者・森林体験サービス業者など30社以上の企業がサプライチェーンを形成し活動
- 木材産業協同組合の主要な会員企業
  - － バイオチップ生産：比留間運送
  - － 森林整備・伐採搬出：東京チェーンソーズ、井上店
  - － 製材：野村材木店、小泉製材所
  - － 木工品製造：フロンティアジャパン、ウッドボックス、おもちゃ工房等
- 組合受託事業
  - － おもちゃ美術館・じゃがいも焼酎工場建築材料提供
  - － 木製ノベルティ・小物製造
  - － サントリー天然水の森整備
  - － 森林体験ツアーなど



バイオチップ生産（比留間運送）



木製ノベルティ（YSCホームページより）  
<https://www.y-s-c-co.jp/hinoki-products>

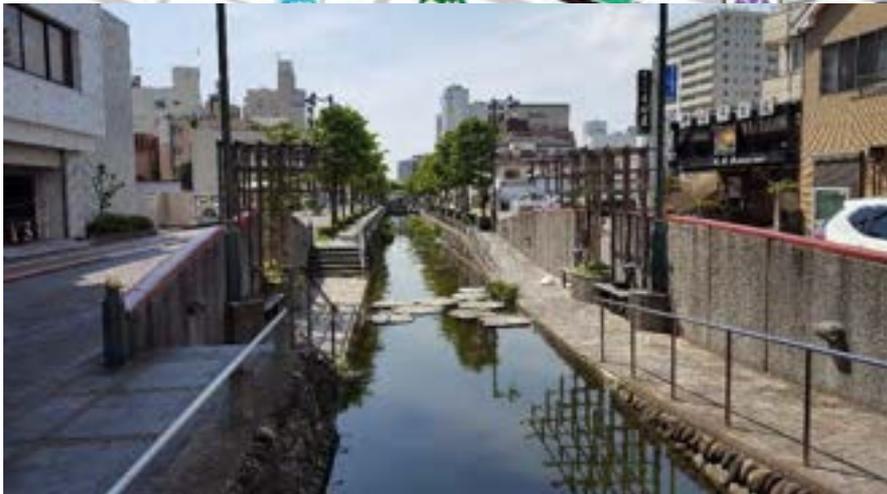
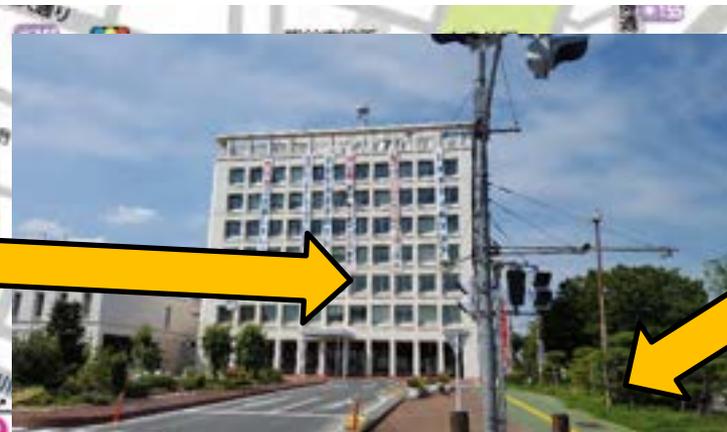


おもちゃ工房 61

# 街なかクールシェアによる商店街活性化(熊谷市)

温  
自  
教  
高  
資  
伝

猛暑時に時間を過ごすための「シェルター」(クールスポット)として公共施設や商店などを指定。夏の電力ピークカット、エアコンの無い高齢者の熱中症対策、商店街振興の一石二鳥を狙う



# 一の橋バイオビレッジの集住化住宅（北海道下川町）

- 一の橋地区は1970年頃は人口約2千人の林業の盛んな町だったが、今は人口約140人、高齢化率50%を超える小規模集落で、商店も病院もなく、買い物や除雪等の支援要望の増加や住宅の老朽化などコミュニティの維持ができなくなった。
- 2003年に超高齢化に対応するエネルギー自給型の集住化エリアを整備。バリアフリーやプライバシー等に配慮し、若者から高齢者まで対応できる住宅を22戸整備。  
地域おこし協力隊がNPOを設立し食堂や移動販売、見守り事業を開始。
- これらの住宅や福祉施設、温室の給湯・暖房はすべて木質バイオマスボイラーから供給され、電力の一部は太陽光発電によって賄われている。



木質チップとバイオマスボイラー



# 有機物リサイクル・農産物生産・消費（福岡県大木町）



メタン発酵施設を町の中心部（道の駅に隣接）を建設→ごみを処理する「迷惑施設」ではなく、循環のまちづくりの拠点・交流施設として位置付け、PRしている



生ゴミの分別  
家庭の台所・学校給食で生ごみを分別



し尿・浄化槽汚泥



メタン発酵→液肥化  
バイオガスプラントで発酵させ、バイオガスと有機液肥を回収

地元農産物の供給  
バイオガス液肥や堆肥を使った農産物を給食や家庭の台所へ



液肥の農地還元  
バイオガス液肥を有機質肥料として農地へ返す



# エコカードシステム（西宮市）

出典：地球ウォッチング・にしのみや  
(EWC)ホームページ  
[http://ewc.leaf.or.jp/ewc\\_a50card.htm](http://ewc.leaf.or.jp/ewc_a50card.htm)



- ・1998年から市内の公立小学校に通う児童全員（約3万人）に毎年エコカードを配布し、学校での環境学習や地域の清掃、エコショッピングなどの活動を行うと学校教員や地域団体、お店の人からカードにスタンプが押印され、一定個数集めた児童を「アースレンジャー」として認定するしくみを確立している。
- ・またエコカードなどのスタンプ数に応じてエココミュニティ会議に活動支援金を支給する「持続可能な地域づくりサポート基金・にしのみや」も設けている。

## ちきょうにやさしいことをしたら・・・

がっこうで ～先生からおしてもらおう	ちいきで ～地域の人からおしてもらおう	おみせで ～お店の人からおしてもらおう
-----------------------	------------------------	------------------------

- かんきょうのことを  
べんきょうしたとおもったら
- いきものはっけんにチャレンジ  
(この「いきものはっけん」は先生からエコスタンプをおしてもらうけれど、「ちいきで」のポイントになりません)
- エコとれーにんぐにチャレンジ

- こども会や地域ちいさでおこなう  
エコイベントにさんかしたら
- エコクイズにチャレンジ!  
こみんかん、じどうかん  
(公民館 児童館 など)
- 自然の中のでかけよう!  
(北山緑化植物園・甲山森林公園  
甲山自然の家・西宮貝類館・  
甲子園浜自然環境センター)

- エコショッピング  
かんきょうにやさしいかいもの  
かいものぶくろもっていったら  
「エコショッピングできたので  
エコスタンプおしてください!」

**地球にやさしいこと をすると  
エコスタンプがもらえるよ!**

●がっこう ●ちいき ●おみせで  
1 2 3 4 5

エコスタンプ 10こで アースレンジャー  
エコスタンプ 20こで EWCバッジ

■グリーン大作戦たいせん

■かんきょうパネルてん  
(出でんするとスタンプ2こ)  
■EWCじもぎよくに  
エコとれーにんぐおくと

かんきょうがくしゅう  
■環境学習サポートセンターに来たとき

リサイクル・リユースしたとき  
～ お店のカウンターで いらてお～

- 牛乳パック・トレイ・ペットボトル
- リターナブルびんをかえしたとき

「リサイクル・リユースできたので  
エコスタンプおしてください!」

# 対馬学フォーラム(長崎県対馬市)



対馬に関わる研究者が集結・交流し、環境研究や環境に関する地域貢献の内容をポスターや集会で発表。地元小中高校生も発表・見学。



# みらいチケットー子ども食堂の発展形（沖縄県）



- 子ども食堂の発展形で、奈良県橿原市げんきカレーをヒントに元警察官の山川宗徳さんが「タコライラバーズ」を2019年に設立
- お客さんが「みらいチケット」を購入（＝寄付）し、ボードにチケットを貼り付けておく。それを子どもがボードから取って出すと食べられる
- タコライスチェーン店「きむじなあ」が全面協力。協力店は169店舗（2023年7月現在）

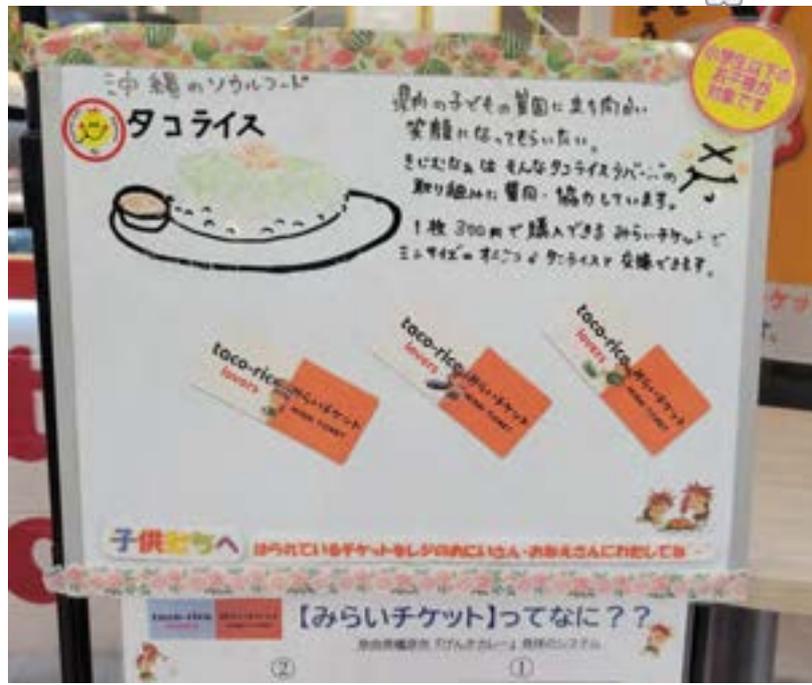


タコライスcafeきむじなあ  
 イーアス沖縄豊崎店  
 沖縄県豊見城市豊崎3-35  
 イーアス沖縄 2F  
 TEL:098-987-0858

2023/09/10 12:51:48  
 レジ:0001 担当:0033  
 取引No:000120230910125012184

登録番号  
 T6360002020830

S 2 オムタコ			
甘口	¥830	1点	¥830
販売)みらいチケット	¥273	3点	¥819
小計		4点	¥1,649
外税別計			¥164



# 水への恩返し(福井県大野市)



- 豊かな水の街である福井県大野市が、「水の恩返し」活動(Carrying Water Project)の一環として、東ティモールの給水設備の設置を支援している

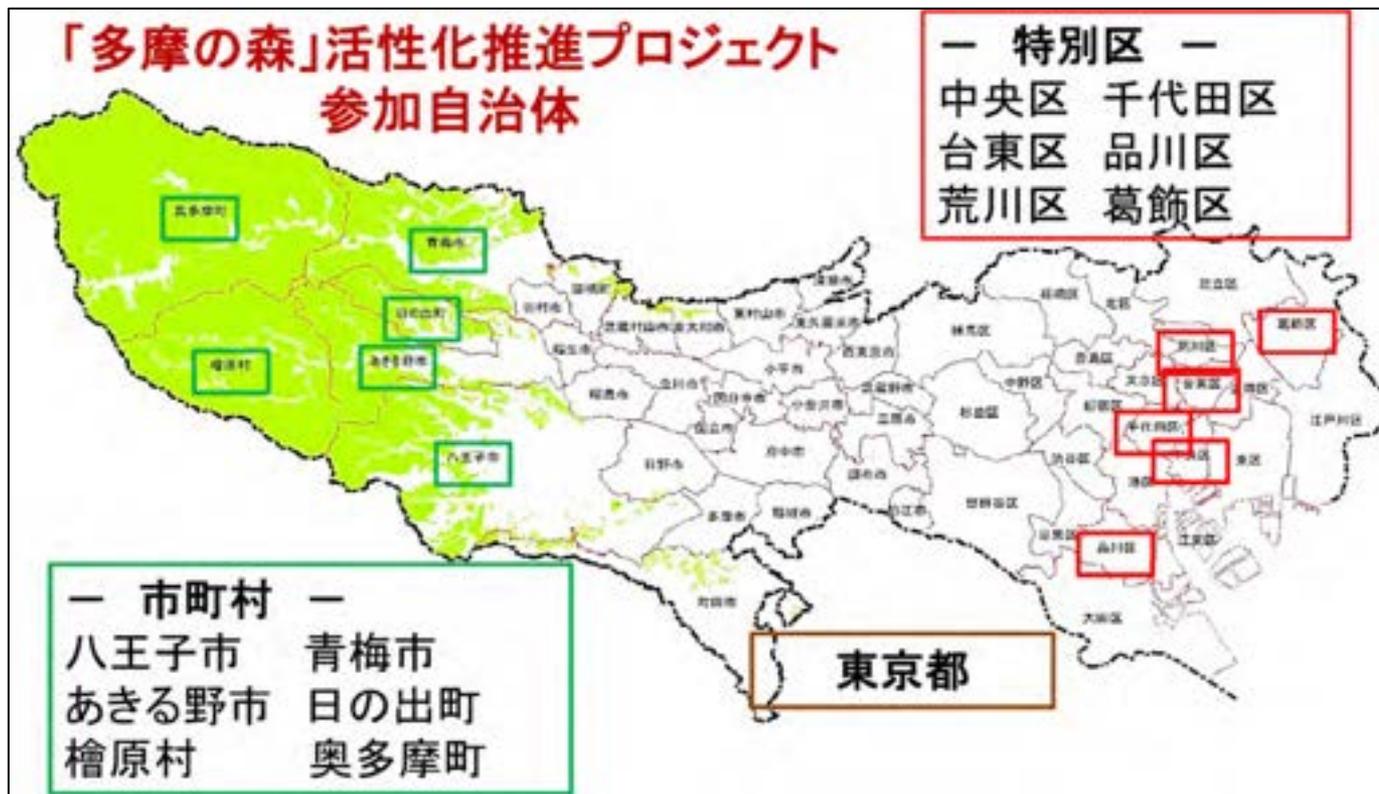


出典:大野市(2018) carrying-water-project. <http://www.carrying-water-project.jp/>. 2019年3月7日閲覧

# 森林環境譲与税を活用した森林管理・活用（東京都）



- 森林整備間伐等施業を実施
- カーボンオフセット（CO2吸収）都の森林貢献認証制度によりCO2吸収量を認証
- 現場体験 多摩の森を活用し、林業作業、自然観察その他の体験事業を実施
- 木材活用 多摩産材、協議会事業による間伐材等の活用



# Ⅲ 個人・Gワーク:環境部署・前任部署の連携 で、できそうな取り組みを考える

ワークシートを見てください



# 過去の自治大研修生の集計結果

内容	比率
市営住宅の省エネ改修(例:フ市)	68%
雪氷熱の冷房・冷蔵への利用(例:上越市等)	55%
宿泊施設の省エネ改修・再エネ導入支援(例:フ市)	51%
サッカースタジアムへの太陽光パネル設置(ドイツ・フライブルク市)	48%
一の橋バイオビレッジの集住化住宅(下川町)	48%
内子高校うちこスイーツコンテスト(愛媛県内子町)	47%
農業用水等を利用したマイクロ小水力発電(西粟倉村、遊佐町)	46%
内子小三年生による役場の仕事調べ(内子小)	46%
街路灯などへのLEDの導入(宇部市など)	45%
内子高校生が町並保存地区を英語でガイド(愛媛県内子町)	45%
川越の職人と手しごと体験市(川越蔵の会、木の家ネット)	44%
街なかクールシェア(熊谷市ほか)	43%
有機物リサイクル・農産物生産・消費(大木町)	43%
熱中症予防情報メール(熊谷市ほか)	42%
対馬学フォーラム(対馬市)	42%
歴史的建築物の省エネ・再エネ改修支援(例:フ市)	42%
温泉施設における薪ボイラーの設置(西粟倉村)	42%
産業におけるバイオマス熱利用(東神楽町)	42%
高齢者サロンや敬老会でのエコ・コンサート(六日市・小田・吉野川・城廻)	41%
大学生によるアンケート調査・祭り手伝い(内子町、芝浦工業大学)	41%
農林業スタディーツアー(大田原市)	41%
成人式のごみ拾いや資源回収(伊丹市)	40%
PFI方式による合併浄化槽設置促進(富田林市)	40%
ゼロウエストカードによる雑紙持ち込みポイントキャンペーン(上勝町)	40%
家屋調査の際にごみの出し方ルールの説明(内子町)	40%
ホテル観察会(内子町、うちみづネット、五十崎自治センターなど)	40%
内子高校総合学習による環境・街づくり提案(内子町)	40%

# まとめ：持続可能な自治体になるには？

- 持続可能な地域づくり(SDGs)を意識して複合的な政策を立案する→限られたリソースで課題を同時解決する！

- 地域資源(自然資源・物的資源・人的資源)の潜在的価値を見だし、再生能力を損なわない範囲で活用する【**残して活かす**】
- モノ、サービス、人材を自前で調達し、循環させ、有機的につなぎ、それが地域の新たな価値を生み出す【**つないで生み出す**】
- 地域内外の人との信頼関係や交流、ネットワークを維持する【**学んで助け合う**】

環境教育・ESD

温暖化対策・エネルギー、自然・水環境保全、農林業振興、  
伝統文化の維持・活用、廃棄物・リサイクル

まとめ:すべての部署で、できることはある！

- 環境に関してできること
  - 「新しいことしなくてはならない→負担が増える」とは限らない
  - 日常業務のちょっとした工夫で、環境に関してできることはたくさんある。
  - 紙・ごみ・電気の抑制も大切だが、本来業務のなかでできることもある。
- 自分の部署の政策に応用できることもいっぱいある！
- 行動力とコミュニケーション力が大事！

# まとめ：政策課題を解決するコツ(その1)

ちょっと ずつ進む	ライフステージごとにアプローチ(課題や興味範囲が異なる)
	自治会などの地域団体と連携する
	自治会の役員や子どもからアプローチ
	日常生活で利用する店舗等と協働する体制をつくる
	Win-Winの関係をつくり、主体的な行動を引き出す
	雑談の中から特技を見つける
	講座の参加者でセンスのいい人に声をかける
	ちょこっと活かせる場を作る
	短い時間の講師(1分間)などをしてもらう
	ハードルを下げる工夫
	わかりやすい言葉、なじみやすい生き物
	結論ありきでなく、住民と問題点を明らかにしていくプロセス
待ち”から“攻め” へ	自ら出向き「営業」をする
	足で稼ぐ
	公私混同公務員
	地域協働をコーディネートできる職員育成
	首長のリーダーシップ
	庁内プロジェクトチーム制
地域・学校・行政をつなぐコーディネータ制(他)	

# まとめ：政策課題を解決するコツ(その2)

組み合わせる	省エネ・創エネの組み合わせ
	他の政策目的との組み合わせ
	まちづくりの一環としてとらえる
	交通ニーズだけでなく、医療や福祉、教育も含めた解決策
	文化、歴史、健康などを組み合わせた学習プログラム
	環境、福祉、文化、住宅政策、公共施設計画などの相乗効果を狙った施策
	エネルギー消費実態データを安心安全や防災、高齢者支援などに活かす
楽しそう・おいしそう！	まずは興味関心をもってもらう(ex.ふろしき)
	「楽しそう」と思わせる見せ方、呼びかけ方
	見る、歩く、おいしいものを食べるような参加しやすいイベント
主体性を促す	受け身でなく主体的になるよう配慮
	自己決定がやる気・愛着を生む
その他	形をつくり押しつけてはいけない
	相手の話を聞く姿勢
	自分ごとにし、共に成長する姿勢
	広報面での支援や経費支援
	情報の見える化